

どうぶつの先生からのたより



発行元：公益社団法人 愛知県獣医師会

ウサギさんのことわざに「二兎追うものは一兎をも得ず」とありますね。2つのことをいっぺんにやろうとすると両方失敗するよって意味。トリさんのことわざには「一石二鳥」というのがあるね。1つ何かをしたら2つのいいことがあるって意味。「縁の下の力持ち」「ローマは1日にしてならず」毎日こつこつ飼育小屋の掃除や食事の用意もみんなで協力してお世話しようね。



うさぎの飼育舎の工夫—暑い夏を無事に乗り切るために

これから夏に向けて、だんだんと厚さが厳しくなってきます。今のうちに、うさぎたちが快適に夏を乗り切ることができるように対策してあげましょう。暑さ対策には、いくつかポイントがありますので、チェックしてみましょう。

その1 日陰を作っておあげましょう。

炎天下では、うさぎも熱中症になってしまいます。大きな木の影になるのが理想ですが、難しければ大きなひさしなどで日陰を作っておあげましょう。



その2 風通しを良くしましょう。

風が通らないと、ムシムシ、ジメジメしてしまい、ばい菌が増えやすくなったり、臭いも臭くなります。まわりに風をさえぎるものがあつたら、どかしておあげましょう。



その3 水はけを良くしましょう。

これから梅雨に向けて雨も多くなります。足の裏の病気や子うさぎの体力低下につながりますので注意しましょう。

その4

●いつでも新鮮な水を飲めるようにしましょう。

同じ水のままでと、ばい菌や虫が増えてしまいます。

●糞や尿をきれいにし、清潔にしましょう。

暑くなると臭いがよりひどくなり病気になることもありますので、よりきれいにしておあげましょう。

●ご飯をこまめに取り替えましょう。

野菜などは腐ったり、乾燥した牧草でもカビが生えたり美味しくなくなります。毎日新鮮なものをあげるようにしましょう。



まんな工夫をしている学校もあるよ

小屋は床から少し高くしてあげるのが理想です。

土に穴を掘って巣にしていたり、水が貯まる所で生活していると、雨水で子うさぎが溺れて死んでしまうことがあります。先生や獣医さんとも相談して、小屋を改築してみてください。



「さようならマカロン、そして ありがとう」

あま市立 宝小学校 前校長 神戸 貴美子

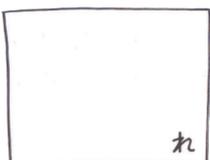


ようやく春らしい陽気となった4月18日のお昼、昨年の秋から寝たきりになっていたうさぎのマカロンが、突然、天国へ旅立ちました。飼育委員会の子は毎朝、マカロンのおしっこシートを交換したり、水やえさをあげたりと世話をしてくれました。そして、休み時間には、たくさんの子もたちがマカロンに会いに来てくれました。不自由な体で一生懸命生きたマカロンは、子どもたちに、命を慈しむことの素晴らしさを教えてくれました。そして、亡くなった命は決して帰らないこと、命が無くなるというのはこんなにも悲しいことだとも教えてくれたように思います。マカロンが亡くなった後、マカロンの棺にお花をいっぱい入れ、子どもたち一人一人がお別れをしました。今、マカロンは盲導犬サーブが眠る名古屋の動物霊園に眠っています。子どもたちは、マカロンの遺影に花やニンジンや手紙や折り紙をお供えしてくれています。小さな命の死を悼む優しい子どもたちに、一番落ち込んでいる私(校長)が励まされています。

なぞなぞコーナー

第1問 「もうすぐかえる」とメールをくれたいきものは？

第2問 これは何の花？ 第3問 この生き物はな～んだ？



(答えはこの新聞のどこかにあるよ)

学校の飼育で困ったり、悩んだりしたら、あるいは教員研修のご希望などがあれば、愛知県獣医師会までご連絡ください。

公益社団法人 愛知県獣医師会
〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目7番9号
チサンマンション丸の内第2-901号
TEL 052-961-3435・5844
ホームページアドレス <http://www.aichi-vet.or.jp>
E-mail: office@aichi-vet.or.jp



協賛/愛知県動物保護管理協会